

令和3年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年12月15日

上場会社名 カレント自動車株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7690 URL https://www.currentmotor.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江頭 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 渡辺 一世 TEL 045-905-1008
 定時株主総会開催予定日 令和4年1月28日 配当支払開始予定日 —
 発行情報提出予定日 令和4年1月31日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年10月期の連結業績(令和2年11月1日~令和3年10月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和3年10月期	5,774	91.0	404	76.1	396	72.4	263	66.4
令和2年10月期	3,023	29.9	229	69.0	229	82.5	158	144.5

(注) 包括利益 令和3年10月期 268百万円(66.0%) 令和2年10月期 161百万円(155.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
令和3年10月期	439.29	—	66.5	28.7	7.0
令和2年10月期	263.96	—	82.9	25.0	7.6

(注1) 当社は、令和2年2月27日付で普通株式1株につき3,000株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

(注2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
令和3年10月期	1,647	536	31.7	871.26
令和2年10月期	1,114	282	24.3	450.55

(参考) 自己資本 令和3年10月期 522百万円 令和2年10月期 270百万円

(注) 当社は、令和2年2月27日付で普通株式1株につき3,000株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
令和3年10月期	341	△62	103	956
令和2年10月期	127	△3	105	573

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
令和2年10月期	—	—	—	—	—	—
令和3年10月期	—	—	—	—	—	—
令和4年10月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 令和4年10月期の期末及び合計の配当金額は未定であります。

3. 令和4年10月期の連結業績予想（令和3年11月1日～令和4年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

通 期	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	7,500	29.9	500	23.6	490	23.7	330	25.2	550.00

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	令和3年10月期	600,000株	令和2年10月期	600,000株
② 期末自己株式数	令和3年10月期	—株	令和2年10月期	—株
③ 期中平均株式数	令和3年10月期	600,000株	令和2年10月期	600,000株

（注）当社は、令和2年2月27日付で普通株式1株につき3,000株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を記載しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページの「1. 経営成績・財政状態に関する分析（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じながら、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、企業活動の抑制や行動制限がありながらも厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待されます。しかし、オミクロン株など変異したウイルスの感染症拡大の懸念などにより、未だ終息時期の見通しが立っておらず、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。自動車業界においては、新車の需要が大きく落ち込んだ昨年度に比べて持ち直してきているものの以前の水準に戻るにはまだ時間を要する状況です。自動車アフターマーケット領域では、中古車の需要が増加し、国内の中古車市場は堅調に推移しました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は5,774,724千円（前年同期比91.0%増）となり、営業利益は404,658千円（前年同期比76.1%増）、経常利益は396,159千円（前年同期比72.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は263,572千円（前年同期比66.4%増）となりました。

なお、当社グループは「車両及びその関連事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は1,503,795千円で、前連結会計年度末に比べ490,400千円増加しております。現金及び預金の増加382,257千円、受取手形及び売掛金の増加32,747千円、商品及び製品の増加61,090千円が主な変動要因であります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は143,698千円で、前連結会計年度末に比べ42,835千円増加しております。機械装置及び運搬具の増加12,522千円、敷金及び差入保証金の増加30,009千円が主な変動要因であります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は953,489千円で、前連結会計年度末に比べ325,112千円増加しております。支払手形及び買掛金の増加30,133千円、未払金の増加43,947千円、短期借入金の増加150,000千円、未払法人税等の増加48,615千円が主な変動要因であります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は157,377千円で、前連結会計年度末に比べ45,818千円減少しております。長期借入金の減少46,548千円が主な変動要因であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は536,626千円で、前連結会計年度末に比べ253,941千円増加しております。当連結会計年度における親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加263,572千円が主な変動要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は956,199千円となり、前連結会計年度末に比べ382,257千円増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は341,734千円（前年同期は127,929千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上396,159千円、売上債権の増加額32,747千円、たな卸資産の増加額55,923千円、仕入債務の増加額30,133千円、法人税等の支払額74,431千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は62,857千円（前年同期は3,614千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出32,556千円、敷金保証金の差入による支出30,061千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は103,380千円(前年同期は105,972千円の獲得)となりました。これは、短期借入れによる収入420,000千円、短期借入金の返済による支出270,000千円、長期借入金の返済による支出46,620千円によるものです。

(4) 今後の見通し

翌連結会計年度におけるわが国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症が多大な影響を与えるものと見込まれます。当社グループ事業の位置する自動車アフターマーケット領域も、先行き不透明な状況が続くものの、中古車に対する需要は堅調に推移すると思われれます。このような中、当社グループは強みであるITを活用した施策を強力に遂行し、主要サービスである車両卸売事業を中心としたさらなる市場開拓を進めることで、堅調に成長させることを目標としております。

令和4年10月期の業績予想は、売上高7,500百万円(前年同期比29.9%増)、営業利益500百万円(同23.6%増)、経常利益490百万円(同23.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益330百万円(同25.2%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸事情を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年10月31日)	当連結会計年度 (令和3年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	573,942	956,199
受取手形及び売掛金	73,006	105,753
商品及び製品	337,251	398,341
仕掛品	5,941	937
原材料及び貯蔵品	162	—
その他	23,496	47,036
貸倒引当金	△405	△4,474
流動資産合計	1,013,394	1,503,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,568	20,400
機械装置及び運搬具（純額）	5,015	17,538
工具、器具及び備品（純額）	3,622	5,322
有形固定資産合計	27,207	43,261
無形固定資産		
のれん	11,041	5,429
ソフトウェア	2,457	7,996
無形固定資産合計	13,499	13,426
投資その他の資産		
投資有価証券	10,984	10,984
繰延税金資産	25,030	20,965
敷金及び差入保証金	15,041	45,050
その他	9,100	10,010
投資その他の資産合計	60,156	87,011
固定資産合計	100,863	143,698
資産合計	1,114,257	1,647,493

カレント自動車株式会社 (7690)
 令和3年10月期 決算短信
 (単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年10月31日)	当連結会計年度 (令和3年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	84,605	114,738
短期借入金	300,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	46,692	46,620
未払金	82,138	126,086
未払費用	13,615	19,094
未払法人税等	43,260	91,875
未払消費税等	14,224	48,845
前受金	26,842	28,916
製品保証引当金	188	91
賞与引当金	5,729	8,551
役員賞与引当金	8,000	12,268
その他	3,078	6,400
流動負債合計	628,376	953,489
固定負債		
長期借入金	189,798	143,250
退職給付に係る負債	1,370	1,930
資産除去債務	7,544	7,607
繰延税金負債	113	220
その他	4,370	4,370
固定負債合計	203,196	157,377
負債合計	831,572	1,110,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	260,332	512,757
株主資本合計	270,332	522,757
非支配株主持分	12,352	13,868
純資産合計	282,685	536,626
負債純資産合計	1,114,257	1,647,493

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 令和元年11月1日 至 令和2年10月31日)	(自 令和2年11月1日 至 令和3年10月31日)
売上高	3,023,844	5,774,724
売上原価	2,159,381	4,443,809
売上総利益	864,463	1,330,915
販売費及び一般管理費	634,736	926,256
営業利益	229,727	404,658
営業外収益		
受取利息	46	10
受取配当金	0	0
固定資産売却益	4,772	912
補助金収入	2,000	—
その他	892	948
営業外収益合計	7,712	1,872
営業外費用		
支払利息	6,526	8,114
保証料償却費	571	471
為替差損	514	288
その他	0	1,496
営業外費用合計	7,614	10,371
経常利益	229,825	396,159
特別損失		
関係会社整理損失	5,995	—
固定資産処分損	1,012	—
特別損失合計	7,007	—
税金等調整前当期純利益	222,818	396,159
法人税、住民税及び事業税	65,872	123,046
法人税等調整額	△4,596	4,171
法人税等合計	61,275	127,218
当期純利益	161,542	268,941
非支配株主に帰属する当期純利益	3,169	5,368
親会社株主に帰属する当期純利益	158,373	263,572

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 令和元年11月1日 至 令和2年10月31日)	当連結会計年度 (自 令和2年11月1日 至 令和3年10月31日)
当期純利益	161,542	268,941
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	427	—
その他の包括利益合計	427	—
包括利益	161,969	268,941
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	158,800	263,572
非支配株主に係る包括利益	3,169	5,368

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 令和元年11月1日 至 令和2年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本			その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	10,000	101,959	111,959	△427	△427	9,183	120,715
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純利益		158,373	158,373				158,373
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)				427	427	3,169	3,596
当期変動額合計	—	158,373	158,373	427	427	3,169	161,969
当期末残高	10,000	260,332	270,332	—	—	12,352	282,685

当連結会計年度 (自 令和2年11月1日 至 令和3年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本			その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	10,000	260,332	270,332	—	—	12,352	282,685
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純利益		263,572	263,572				263,572
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△11,147	△11,147			△3,852	△15,000
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						5,368	5,368
当期変動額合計	—	252,425	252,425	—	—	1,516	253,941
当期末残高	10,000	512,757	522,757	—	—	13,868	536,626

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 令和元年11月1日 至 令和2年10月31日)	(自 令和2年11月1日 至 令和3年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	222,818	396,159
減価償却費	5,382	7,672
のれん償却額	5,612	5,612
固定資産処分損	1,012	—
固定資産売却益	△4,772	△912
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	63	4,068
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,031	2,821
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	487	560
受取利息及び受取配当金	△47	△11
支払利息	6,526	8,114
為替差損益 (△は益)	△390	—
売上債権の増減額 (△は増加)	20,854	△32,747
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△165,213	△55,923
仕入債務の増減額 (△は減少)	57,181	30,133
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△7,832	34,620
その他	55,822	24,101
小計	199,534	424,269
利息及び配当金の受取額	47	11
利息の支払額	△6,526	△8,114
法人税等の支払額	△65,125	△74,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,929	341,734
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5,000	—
有形固定資産の取得による支出	△8,392	△32,556
有形固定資産の売却による収入	6,887	912
長期貸付金の回収による収入	2,965	2,768
敷金保証金の差入による支出	△214	△30,061
敷金保証金の回収による収入	1,106	52
その他	△966	△3,972
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,614	△62,857
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	420,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△270,000
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△43,496	△46,620
リース債務の返済による支出	△531	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	105,972	103,380

	前連結会計年度 (自 令和元年11月1日 至 令和2年10月31日)	当連結会計年度 (自 令和2年11月1日 至 令和3年10月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	768	—
現金及び現金同等物の増加額	231,055	382,257
現金及び現金同等物の期首残高	347,201	573,942
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△4,314	—
現金及び現金同等物の期末残高	573,942	956,199

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、「車両及びその関連事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 令和元年11月1日 至 令和2年10月31日)		当連結会計年度 (自 令和2年11月1日 至 令和3年10月31日)	
1株当たり純資産額	450円55銭	1株当たり純資産額	871円26銭
1株当たり当期純利益	263円96銭	1株当たり当期純利益	439円29銭

- (注) 1. 当社は、令和2年2月27日付で普通株式1株につき3,000株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りです。

項目	前連結会計年度 (令和2年10月31日)	当連結会計年度 (令和3年10月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	282,685	536,626
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	12,352	13,868
(うち非支配株主持分) (千円)	(12,352)	(13,868)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	270,332	522,757
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	600,000	600,000

4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りです。

項目	前連結会計年度 (自 令和元年11月1日 至 令和2年10月31日)	当連結会計年度 (自 令和2年11月1日 至 令和3年10月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	158,373	263,572
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	158,373	263,572
普通株式の期中平均株式数 (株)	600,000	600,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。